

令和5年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株)札幌花き地方卸売市場	所管課	経)展示場整備担当課
		記入者	担当 堀川 電話 011-211-2481
基本財産	470,000千円	本市出資額	236,000千円 (出資割合 50.2%)
設立年月日	昭和55年(1980年)2月18日	出資年月日	昭和55年(1980年)1月11日
設立・出資目的	花き取引について、その適正かつ健全な運営を確保することにより、花き等の生産および流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資するとともに、関係業界の発展に寄与することを目的としている。	沿革	昭和56年 国・道の卸売市場整備計画に基づき、市内に分散していた3つの民間花き卸売市場を移転統合し、新たに札幌流通圏を中心に拠点市場として開設された。
代表者	代表取締役社長(非常勤) 石川 敏也(副市長)		
主な出資者	① 札幌市 (50.2%) ② 札幌花き園芸(株) (40.5%) ③ 北海道植物(株) (4.7%) ④ (株)北海道銀行 (4.0%) ⑤ はまなす花き(株) (0.6%) ⑥		
団体所在地	〒003-0030 札幌市白石区流通センター7丁目3番5号		電話 011-892-1432

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 花き卸売市場等の開設・管理・運営および花き業界の振興、需要喚起に資する事業 (6ページ)	②
当市場の運営事業等を継続することにより、花き等の生産および流通の円滑化が図られ、市民等へ良質な花きが供給されるとともに、花きに係る地場中小企業の振興に貢献してきている。	
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 124,302千円 ÷ 総支出 124,302千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	当市場の花き取扱額は、道内花き地方卸売市場の取扱額の6割を超えるシェアを有しており、産地と消費者をつなぐ流通拠点として重要な役割を担っている。一方で、花き業界全体の振興、需要喚起のため、花きの需要喚起に資するイベントを実施しているが、来場者数が減少しているため、今後、イベント内容の充実や周知方法等を改善する取組が必要である。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	市場の管理運営等の業務を着実に実施し、道内花きの流通拠点としての役割を果たしているほか、市場関係者とともに花きの需要拡大、花き産業の振興に向けた取組を実施し市場活性化に努めている。

3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成		役員の任期		
役員					9	10歳代	40歳代	1	取締役	2年
常勤取締役	1					20歳代	50歳代	1	監査役	4年
常勤監査役						30歳代	60歳代		代表権のある役員の就任年月	
非常勤取締役			6			平均年齢		50.0	歳	取締役
非常勤監査役			2						監査役	
職員					5	職員総数の推移(人)				
常勤管理職	1					R03.4.1時点	6			
常勤一般職			2			R04.4.1時点	6			
非常勤職員			2							

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(経常収入比)	(前年比)		
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	124,679	128,065	(100.0%)	(+3,386)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	122,549	126,393		(+3,844)
			営業費用 (b)	130,749	124,302		(▲ 6,447)
			うち販売費・一般管理費 (c)	102,745	96,743	(75.5%)	(▲ 6,002)
			うち人件費 (d)	28,004	27,559	(21.5%)	(▲ 445)
			営業利益 (e)	▲ 8,200	2,091		(+10,291)
		営業外	営業外収益 (f)	2,130	1,672		(▲ 458)
		当期純利益 (g)	▲ 6,568	2,844		(+9,412)	
	貸借対照表	資産 (h)	流動資産 (i)	283,448	220,628		(▲ 62,820)
			固定資産 (j)	492,684	475,983		(▲ 16,701)
			負債 (k)	191,748	109,383		(▲ 82,365)
			流動負債 (l)	105,430	26,627		(▲ 78,803)
			固定負債 (m)	86,318	82,756		(▲ 3,562)
純資産 (n)			584,384	587,228		(+2,844)	
		資本金 (o)	470,000	470,000		(0)	
		借入金残高 (p)	0	0		(0)	

R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a)	R4年度は、当初見込みより取扱金額が増えたことにより、売上高割使用料および精算業務収入が増額となったことによる増
(c)	R4年度は施設大規模修繕工事がなかったことなどによる減
(i, l)	令和4年度3月分精算代金の一部が年度内支払となったことにより、精算用普通預金が減少し、対応する精算代金預り金も減少したことによる減

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	114,384	117,228	(+2,844)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	75.3%	84.3%	(+9.0%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	268.8%	828.6%	(+559.7%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	84.3%	81.1%	(▲3.3%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	20,780千円	21,344千円	(+564千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	22.9%	21.8%	(▲1.0%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	17,124千円	16,124千円	(▲1,000千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	83.8%	76.5%	(▲7.3%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	売上高が当初見込みより増収となる一方、営業費用は修繕費が減となったことから4年振りに純利益を計上した。債務超過、累積欠損金がなく、自己資本比率・流動比率・固定比率とも望ましい水準にあり、健全性が高い。人件費率なども前年比減となっており生産性は高く、本市から財政的関与がない自立した経営を維持している。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1) 出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○出資比率の維持						
①	市出資金	目標	236,000千円	236,000千円	236,000千円	236,000千円
		実績	236,000千円	236,000千円	236,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○必要な人的関与の継続						
①	本市職員の役員就任数	目標	2名	2名	2名	2名
		実績	2名	2名	2名	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○花きの需要喚起に資するイベントの開催							
①	花き需要喚起に向けた事業数	目標		6件	12件	13件	国庫補助金の削減等に伴い事業の統廃合を行ったことからR5年の目標値を20件から13件に変更する
		実績	6件	4件	13件		
		評価		未達成	達成		
②	花き市場まつりの来場者数	目標		-	4,000人	4,100人	
		実績	-	-	6,340人		
		評価			達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○情報発信機能の強化							
①	ホームページアクセス数	目標		41,000件	42,000件	43,000件	
		実績	33,819件	31,570件	34,456件		
		評価		未達成	未達成		
②	年間市場取扱高	目標		7,250,000千円	7,330,000千円	7,400,000千円	
		実績	7,187,473千円	7,374,414千円	7,801,343千円		
		評価		達成	達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							
①について、8月から10月にかけてアクセス数が低調傾向にあるため、当該期間における市場関係者独自の事業の紹介や、今後実施予定の事業などのお知らせなどを発信していく。							

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○必要な人的関与の継続（再掲）							
①	本市職員の役員就任数	目標		2名	2名	2名	
		実績	2名	2名	2名		
		評価		達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標		3件	3件	3件	
		実績	1件	2件	3件		
		評価		未達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

事業評価 (1) 花き卸売市場の開設・管理・運営および花き業界の振興、需要喚起に資する事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局経済戦略推進部展示場整備担当課	担当： 堀川	電話： 011-211-2481
(1)事業内容	<p>・花き専門地方卸売市場の管理、運営および市場の関連機能として、花き関連商品売場を設置し、その管理を行っている。</p> <p>また、花き業界全体の振興、需要喚起のため、市場を中心とした関係団体で組織する北海道花き振興委員会の事務局（会長は当社専務取締役）を担当し、切花と鉢物の品評会、展示会や鉢花即売会を実施している。さらに、花き関連事業者との連携によるさっぽろ花き市場まつり等の開催や、北海道フラワーウォーク、SAPPOROフラワーカーペット等のイベントを主催する他団体との協力・連携等、花きの振興・需要喚起に資する事業を実施している。</p>		
(2)事業目的	市場関係事業者間の花き取引について、その適正かつ健全な運営を確保することにより、花き等の生産および流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資するとともに、関係業界の発展に寄与することを目的としている。		
(3)事業開始	昭和55年(1980年) 2月18日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		124,679 (100.0%)	128,065 (100.0%)	(+3,386)
事業 支出 (単位 千円)	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	122,549	126,393	(+3,844)	
	その他収入	2,130	1,672	(▲458)	
	費用(支出)	130,749	124,302	(▲6,447)	
	事業費	375	1,365	(+990)	
	管理費等	130,374	122,937	(▲7,437)	
	収支差	▲6,070	3,763	(+9,833)	
収支比率	95.36%	103.03%	(+7.67%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	花育等花き需要喚起に向けた事業数	4	12	13	13
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	市場における年間の取扱数量(単位:千本・千鉢)	81,135	77,900	78,462	76,900
②	市場における年間の取扱金額(単位:千円)	7,374,414	7,080,000	7,801,343	7,650,000
③	市場まつりの来場者数	-	4,000	1,820	0
④	鉢花即売会の来場者数	-	3,500	4,520	6,000
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>当市場における年間の取扱数量等は減少傾向にあるものの、道内花き地方卸売市場の取扱額の6割超を占めており、引き続き道内花き流通の円滑化、安定化に重要な役割を担っている。</p> <p>花き業界全体の振興、需要喚起のため、北海道花き振興委員会による北海道花き品評会(切花・鉢花)等の花きの需要喚起に資するイベントを着実に実施しているが、来場者数が減少しているため、今後、イベント内容の充実や周知方法等を改善する取組が必要である。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>令和4年度は前年度より売上高は増加、管理費等は減少したため収支は黒字となった。今後も施設老朽化に対応するため、引き続き収支改善に向けた取組を進める必要がある。</p>

損 益 計 算 書

自令和4年4月1日
至令和5年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	103,504,560	
売上高割使用料（卸）	42,907,367	
面積割使用料（卸）	37,908,696	
売上高割使用料（仲卸）	2,727,401	
関連店舗使用料	19,961,096	
精算業務収入	19,733,620	
駐車管理収入	3,155,000	126,393,180
売上総利益金額		126,393,180
【販売費および一般管理費】		124,302,451
営業利益金額		2,090,729
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	1,381	
雑収入	1,670,818	1,672,199
経常利益金額		3,762,928
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	975	975
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		3,763,903
法人税、住民税及び事業税		919,973
当期純利益		2,843,930